

松谷 福三 平政会

経常収支比率改善のための行財政改革

改善を続けてきた経常収支比率が、23年度は悪化に転じた。これまで人件費は削減してきたが、物件費及び繰出金はふえている。この削減目標を設定すべきではないか。

答 物件費については、一律の削減枠は設けないものの一般的な物件費の一層の節減に努めたい。また、繰出金については、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計については、年々増加傾向にあり、これは、制度改革や高齢化の進行に伴うもので、目標を設けることは現実的には難しいと考えている。

庁舎整備における第1庁舎の活用方法

庁舎整備の最大の目的は機能の合理化であり、市長室及び総務関係諸室との動線は短くあるべきである。現計画はこれが逆になっており、事務効率が悪い。計画変更を望む。

答 既存庁舎の活用で庁舎が分散した場合でも、新庁舎内でほとんどの用事を済ますことができるよう、市民の利便性を第一に考えてきた。第1庁舎へ配置する部署については、事務効率のほか、同庁舎の改修費やランニングコスト等も考慮し、最終的な方向づけを図るほか、接続の仕方についても、設計段階で検討したい。

その他の質問事項

- 再生可能エネルギー
- 畑作振興基金活用事業
- 少子化対策

庄司 紘八 よねしろ会

自前電気都市間競争を勝ち抜く施策を

再生可能エネルギーの充実により地域内の一般家庭初め企業誘致にも利すると思う。都市間競争に勝ち抜くエネルギーのまちとして全国にアピールできる能代を目指してほしい。

答 市民、事業者が取り組む事業に、市が協働で参画し地産地消型の仕組みづくりを進め、企業誘致の有利な条件を示すことができれば、地域活性化につながると考える。関連産業やメンテナンス産業へと発展させるため、洋上を含めた風力や太陽光の大規模発電事業に取り組むなど、先進地化を進める必要があると考える。

東能代新田線の吹雪対策は

2月8日の吹雪の際、同路線を3度往復してみたが、吹雪の状況は大型タンクローリー車も途中でとまるほど。防雪柵は種類により効果が違う。直線部分の安全策の検討を。

答 同路線の国道7号から医師会病院下までの防雪柵は関係自治会、道路利用者、隣接土地所有者及び市で協議の上、ベルト式防雪フェンスを採用し、平成17、18年度で整備したが、その後猛吹雪となった場合、視界不良や吹き溜まりが確認され、交通安全上、何らかの対策が必要と考えており、改めて検討していきたい。

その他の質問事項

- 風車メンテナンス工場誘致の展望
- 洋上発電に対する具体的ビジョンは
- 住宅リフォーム緊急支援事業

信太 和子 市民連合

高齢社会における除排雪対策

2月の豪雪は雪戦争であった。市の高齢化率が33%を超え、かつ後期高齢者が増加した。福祉と除排雪が一体となった高齢者除排雪計画を考えては。排雪対策も考えるべきだ。

答 市のこれまでの取り組みを検証し、県内各市の状況等を参考にしながら計画策定の必要性も含め研究したい。また自治会等の構成員も高齢となり、排雪の取り組みが困難な地域も見られるので、今後とも状況把握に努めながら高齢社会に対応した排雪対策についても研究しなければならない。

恋文のまちづくりニツ井振興

ニツ井地域振興係が室へ格上げされ恋文のまちづくりが加速した。商工会、観光協会、商店会、市民、行政を有機的に結んだ振興策が急がれる。今後の恋文のまちづくりの展望は。

答 「恋文のまちづくり事業推進計画」に基づき、25年度はアドバイザーの招聘や商店街の景観整備、イベント開催、きみまち阪第1広場休憩所の改修、ポケットパーク等の整備のための調査等を行う。26年度以降はアドバイザーの招聘やイベント開催、ポケットパーク、恋文モニュメントの整備等を計画している。

その他の質問事項

- 庁舎整備での市長室のあり方
- 風力発電と住宅との距離
- 体罰・いじめと教育委員会の課題